

令和7年12月2日

## お知らせ

学 校 名	県立岡山聾学校
担 当 者	教頭 楠本 守 教諭 浅井 祐哉
電話番号	086-279-2127

### デフリンピック東京大会・空手金メダル選手が来校！

#### 令和7年度中学校武道授業（空手道）指導法研究事業を 岡山聾学校で開催します

中学校武道授業の充実に向け、（公財）日本武道館などが開催する標記の事業が岡山聾学校にて開催されます。この事業に、先日デフリンピック東京大会の空手競技において金メダルを獲得した森健司選手（立命館大学）が研究協力者として参加しますので、お知らせします。

#### 記

1 日 時 令和7年12月8日（月）  
10:00～16:50

2 場 所 県立岡山聾学校 会議室・体育館  
(岡山市中区土田51)

3 参 加 者 （公財）全日本空手道連盟ほか関係者 8名  
岡山聾学校 中学部・高等部生徒 22名（午後の授業に参加）  
岡山聾学校 教職員

4 内 容 別添の資料をご覧ください。

5 そ の 他 取材を希望される場合は、事前に岡山聾学校担当者へ連絡してください。

# 令和7年度中学校武道授業（空手道）指導法研究事業<授業観察> 実施要項

令和7年10月

- 1 趣 旨 中学校武道授業の充実へ向け、新学習指導要領に準拠し、年間8～10時間の授業時間想定で、各武道種目の特性を踏まえた指導計画、指導内容、指導法、評価等について、教育効果の上がる武道授業（空手道）指導法の研究会を実施する。
- 2 名 称 令和7年度中学校武道授業（空手道）指導法研究事業
- 3 主 催 公益財団法人日本武道館、公益財団法人全日本空手道連盟、日本武道協議会
- 4 協 力 岡山県立岡山聾学校
- 5 後 援 スポーツ庁
- 6 期 日 令和7年12月8日（月）
- 7 会 場 岡山県立岡山聾学校（岡山県岡山市中区土田51）
- 8 参加研究者 (1)全日本空手道連盟から推薦された研究者4名、研究協力者1名、事務局3名、計8名。  
(2)上記研究者4名、研究協力者1名、計5名の交通費・宿泊費及び謝金は日本武道館が負担する。また、上記事務局3名の宿泊費を負担する。
- 9 そ の 他 (1)体調がすぐれない場合（発熱等）は、参加を見合わせること。  
(2)交通費・謝金の支払いは、出席を確認した後、事業終了後に各人の指定口座に振込む。

以 上

## 【問い合わせ先】

〒102-8321

東京都千代田区北の丸公園2-3

公益財団法人日本武道館 振興部 振興課

TEL 03-3216-5134/FAX 03-3216-5117

令和7年度中学校武道授業（空手道）指導法研究事業<授業視察>【案】

No.	区分	氏名	所属・役職
1	研究者 (研究協議3講師)	太田 熊野	富山県立しらとり支援学校・教諭
2	研究者 (研究協議3)	小山 正辰	(公財) 全日本空手道連盟 学校武道推進委員会 委員長
3	研究協力者 (研究協議3)	森 健司	立命館大学 空手道部 3回生
4	研究者	野中 史子	公財) 全日本空手道連盟 学校武道推進委員会 副委員長 高知市立旭中学校・主幹教諭
5	研究者 (研究協議1)	山本 史子	佐賀県立中原特別支援学校・教諭
6	全空連職員	日下 修次	(公財) 全日本空手道連盟 学校武道推進委員会 相談役
7	全空連職員	高橋 昇	(公財) 全日本空手道連盟 学校武道推進委員会 委員
8	〃 事務局	田邊 札子	(公財) 全日本空手道連盟 指導普及課

## 令和7年度中学校武道授業(空手道)指導法研究事業<授業視察>

### 日程表(案)

日 時間	令和7年 12月8日(月)
午前	10:00 開講式・記念撮影
	10:20 研究協議(1) 「特別支援学校における空手道授業の実践事例について」 ★研究者(山本史子)からの実践報告
	11:00
	11:20 ●実践報告についての質疑応答
	11:30
	研究協議(2) 「特別支援学校における空手道授業の課題と今後の取組みについて」 (グループ討議)
	12:30
	昼食休憩
	13:30 研究協議(3) 「特別支援(聾)学校における空手道授業指導法について」 ★岡山県立岡山聾学校中等部高等部の空手道体験授業視察 ・研究者:太田熊野氏 ・研究者:小山正辰氏 ・研究協力者:森 健司氏
	15:20 ●体験授業についての振り返り
午後	16:00 研究協議(4) 「各研究者からの報告事項について」
	16:30
	閉講式